

令和元年度

学校関係者評価

結果報告書



(令和2年2月)

一般社団法人

東予理容美容専門学校

まえがき

本校の校訓は「技を競って 心を磨く～美のスペシャリストの育成」である。今後、持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に社会づくりに貢献できる人間性豊かな人格の完成を目指すものである。本校では専修学校として「将来、理容業・美容業に従事する者としての使命感をもち、より優れた人間美の創造を実現するための美的感覚や理容技術・美容技術を身に付けた人材を育成する」「理美容における業務を衛生的、安全に実施するための確かな技術とマナーを身に付け、自ら進んでコミュニケーションを図ることができる」「個々の客の要望に応じた理容技術、美容技術を確実に提供できるよう総合的な実践的能力の基礎を身に付ける」を目標に掲げている。

「地域に開かれた信頼される学校づくり」を目指して、修得した理美容技術を生かした地域社会貢献活動にも力を入れ、創意工夫ある教育課程の編成に努めている。この学校関係者評価は、令和2年1月に実施した自己評価を中心に行われた。この報告書はこの学校関係者評価結果をまとめたものである。

I 令和元年度 自己評価の基準及び点検中項目

東予理容美容専門学校は、学校の目標・計画等に沿った取組の達成状況や、それらの取組が適切に行われたどうか等について、従来から積極的に自己点検・自己評価を実施し、その結果を公表するとともに、教育活動や学校運営の改善に活用してきた。令和2年3月には、表1に示した評価基準（10基準）について実施した自己評価結果報告書も併せて公表した。なお、この評価基準は、専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省）に準拠したものである。

表1 令和元年度自己評価の基準及び点検中項目

評価基準	点検中項目
基準1 学校の教育目標	a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。
	b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。
	c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。
	d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。
基準2 学校運営について	a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。
	b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。
	c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。
	d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。
	e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。
	f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。
基準3 教育活動	a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
	b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
	c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
	d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
	e 実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
	f 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
	g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか
	h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか
	i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組が行われているか

基準4 学修成果	a 就職率の向上が図られているか
	b 資格取得率の向上が図られているか
	c 退学率の低減が図られているか
	d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
機銃5 学生支援	a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
	b 学生相談に関する体制は整備されているか
	c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
	d 学生の学内生活環境への支援は行われているか
	e 保護者と適切に連携しているか
	f 卒業生への支援体制はあるか
基準6 教育環境	a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
	b 防災に対する体制は整備されているか
基準7 学生の受入れ募集	a 学生募集活動は、適正に行われているか
	b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
	c 学納金は妥当なものとなっているか
基準8 財務	a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
	b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
	c 財務について会計監査が適正に行われているか
	d 財務情報公開の体制整備はできているか
基準9 法令等の遵守	a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
	b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
	c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
	d 自己評価結果を公開しているか
基準10 社会貢献・地域貢献	a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
	b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
	c 地域に対するオープンキャンパス等を積極的に実施しているか

この令和2年1月に実施した自己評価結果を踏まえて、自己評価結果の客観性や透明性を高めるため、地域有識者、保護者代表、理容関連企業代表者、美容関連企業代表者から構成される学校関係者評価委員会を開催した。

学校関係者評価委員会では、まず東予理容美容専門学校から令和元年度の教育活動を振り返り、自己評価の評価基準各項目ごとの評価結果や取組状況、今後の課題や抱負等の説明を行った。そして、自己評価結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校関係者評価委員会で評価することを基本とすることを確認した。

具体的には、「自己評価の内容が適切か」「自己評価の内容を踏まえた今後の改善方策が適切か」「学校の重点目標や自己評価の評価項目が適切か」「学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か」などを評価するとともに、学校運営の継続的改善を図る観点から、改善のために専門的立場から助言を頂いた。この学校関係者評価は、東予理容美容専門学校から提出した自己評価結果報告書を中心としているが、同専門学校が公開している情報も参考にしつつ実施した。

この報告書は学校関係者評価委員会での意見・助言等をまとめたものである。今後、各委員の意見・助言等を教育活動、学校運営等の改善に活用することで、より豊かな教育活動の創造・実現、社会に役立つ人材の育成に向けて取り組んでいきたい。

Ⅱ 評価結果の総表

※ 人口減少に伴う生徒数の減少については、本校も何十年前の生徒数と比較すると随分減少しており、生徒数の確保に向けては今後も尽力していくことが大切である。本校では生徒が少ないなりに、社会貢献活動などいろいろなことに取り組んでおり、進化してきているなど感じる。校舎等ハード面で古くなってきており、OB から資金を集めていくなど、そういう形も必要ではないだろうか。

※ 学校運営における「人事・給与等の規定の整備」についての項目において、

昨年度と比べて評価が一つ下がっているが、財政基盤が生徒数と深く関係があるため、致し方ないところがあるだろう。また、学修成果における「就職率の向上」については、卒業時には100%の就職率であるが、後に店舗を変えるなど離職する者がいるため、卒業後の状況などを把握したり、就職サポートをしたり取り組んでおられる。

- ※ 地域社会貢献活動にも力を入れていることから、それらの活動の感想をまとめて公開したり、市議会の様子を見学したり、市政だよりの表紙に市民モデルとして公募したりするなど、戦略的に行政とも組んでいってもよいだろう。
- ※ 学校生活の中で、美容知識・美容技術だけでなく、地域活動やボランティア活動にも力を入れてくださっており、人とのコミュニケーションの取り方を自然に学べることができるので、今後、社会人として、また美容師として大きな糧になると思う。
- ※ 保護者としては、社会に役立つ立派な社会人になってほしいと願っている。美容業の楽しさ、面白さを見つけ、お客様を綺麗にする喜びをスタッフと共有しながら、新しい技術の向上を目指す美容師を育成できる学校として在り続けてほしいと思う。
- ※ 長年、生徒減少が続いている昨今で、現場では最大限の運営努力をされていることは理解できる。後手後手の対策ではなく、目指すべき学校像を具体的にグランドデザインしていくことが大切である。
- ※ 一般社団法人であるので、学校経営とはいえ民間のノウハウを積極的に導入し、「地域に必要とされ、地域が応援してくれる学校になるためには何をすべきか」を徹底的に実行していくことを期待する。
- ※ 学校経営の現状は大変ではあるが、少数の生徒をやめないようにフォローする運営モードから、学校魅力化により入学競争倍率を上げるモードに転換していくことも考えられるだろう。
- ※ 資金調達面も見据えた「卒業生約4,000人に向けたアプローチ」を実行し、「東理美が進化する！」というメッセージを発信し、共感者・協働者を増やす取組も並行して実行することも期待したい。
- ※ 学校の自己評価結果についての説明を頂いて、学校全体で生徒一人一人に真剣に向き合っているということがよく分かった。その背景にグレードの高さ

を感じ感銘を受けた。入学してくる生徒は安心して学校生活を送ることができると思う。

- ※ より良い技術力と人間力を育てる学校、その学校に人が集まる魅力ある学校であり続けてほしい。何を学べるかが見えるように、ガイダンスを作っていくと、外から学校のイメージが見えてくる。インスタグラムや「まいぷれ新居浜」、ホームページ、SNS、フェイスブック、ガイダンスなどをこれからも活用して取り組んでほしい。また、教育環境（見た目）や財務なども絶対に大事なので良くなっていくように頑張ってもらいたい。
- ※ 昨今では、大人は子供を叱らなくなったという世情を背景に、心が十分に満足していない、育てていない人間も多い。人の心の痛みが分かる人間、心豊かな人間を育てようとする学校の取組は大切であると思う。
- ※ 学校は社会貢献活動に尽力し、たくさんの体験を通して、人と人とのつながりを大切にし、ボランティア精神を育てている。相手が笑顔（咲顔）になるということだけでも、社会貢献であるということ、若い内に体験できるのは素晴らしいことである。学校の熱い思いが自己評価結果報告書の文章から感じ取れる。これからも一層地域に愛され信頼される学校づくりに向けて取り組んでほしい。